



永井 正之 議員

問 どうなる林業、 町長決断を

答 伐った所有者に応援をしたい

議員 今、下仁田町の

山林は野生動物そして山ヒルの天国である。

間伐は、少々進んでいるが、主伐（皆伐）は、ほとんど進んでいない。原因は何か。

農林商工課長 木材価格と、搬出経費が同額で、所有者が、もう放っておこうという考えだと思えます。

議員 主伐・間伐の補助事業や支援は。

農林商工課長 間伐に

対しては、国、県、

町の補助事業があるが、主伐には何もない。

議員 主伐に町独自の補助事業等の考え

は。

町長 山林所有者に、

山の木を伐って貰えるような、意欲の出る施策を考えていきたい。

町長 山林所有者に、山の木を伐って貰えるような、意欲の出る施策を考えていきたい。

主伐に対して、伐った所有者に、何らかの応援をしたい。

議員 決定ということ

で受け止めて良いか。

町長 その方向で考えている。

議員 作業道の有効利用ということだが、林業は、循環作業でもある。まず間伐で

道を開け、主伐、植林、

管理等いろいろな作業に利用したい。

そこで、植林や保育等に対しての施策

はどうなっているか。

農林商工課長 植林や保育に関しては、国

県の補助があるが、

10分の10ではありません。

議員 普通林は、植林義務がないとのこと、このままでは、

荒山になってしま

う。町で「上乗せ」

ができるか。

町長 その部分も考えているが、一部に受益者負担というこ

とも必要だと思う。全面的には、植林も含めた中で、考えていきたい。

●花粉対策をアピール

議員 下仁田町は山林の産地、つまり花粉

の産地でもある。こ

うした中、花粉対策

がふるさと納税にア

ピールできないか。

地域創生課長 大変難しい問題です。全国

を調べても、花粉症

対策で、ふるさと納税のものを使得、

充当してメニューの

中に取り入れるとい

うところは、未だ見

当たりません。

問 地域にせまる山林、 なんとかして

答 事業の継続を要望 している

議員 戦後の木材不足

等により、山林はも

とより、住宅地の側まで植林が進み、その後の管理不足のた

め、住民は大変苦慮している。

「ぐんま緑の県民事業」での、道路沿

いの森林伐採は、皆

喜んでいる。

しかし、今では住

宅地や田畑の側まで

山林が迫っているの

が現状です。伐採に

ついては、個人折衝

では大変なことで、

こういう事業で進めていただけないか。

農林商工課長 「ぐんま緑の事業」は、平成30年で終了とい

うことだが、地域住

民の関心が高く要望

も多数挙げられている。継続をしていた

だけるように、町村

会等を通じて、県に

要望している。



花粉の少ない品種の植林